

愛知淑徳大学国語国文

第 36 号

桓武天皇の後宮	岩下紀之	(1)
『合評』という名の文芸時評		
——『めざまし草』『藝文』『萬年艸』における森鷗外——	小倉 齊	(17)
探偵小説批評の欲望		
——甲賀三郎と本格／変格論争——	竹内瑞穂	(33)
間語り考		
——能〈三山〉における間狂言の役割——	田崎未知	(51)
伝飛鳥井雅経筆六条宰相家歌合 影印と翻刻	日比野浩信	(83)
「藤裏葉」巻贈答歌考		
——内大臣と夕霧の贈答をめぐって——	杉浦一彰	(113)
『書評』 増井典夫著『近世後期語・明治時代語論考』	矢島正浩	(127)
学修成果の記述による教育的効果		
——全学必修科目「日本語表現T1」の実践報告——	入口 愛	(144)
修士論文・卒業論文題目		(145)
大学院研究発表会題目		(151)
国文学会活動報告		(152)